



こくろうよなご

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に



会議でははじめに倉下執行委員長より「来年の1月24日は伯備線事故から20年目の日となる。安全の取り組みについて何ら変わるものはないが、一つの節目として安全を考える日にしたい」と思う。事故から20年、何もしなければ事故の教訓も風化をしてしまう。夏頃には会社幹部のパワハラ案件が新聞で大きく取り上げられたが、心理的に安全な職場になつてゐるのかしつかりと振り返り、明日からの活動に繋げていただきたい

12月6日、地方本部事務所にて第一回目となる「安全考動計画監視委員会」を開催しました。各職能別協議会の代表者も含めて、各職種・職場における安全課題など議論してきました。

安全考動計画監視委員会開催

これって心理的に安全？！

何でも話せる？

はじめは、参加者の多くが普段の職場においては、「心理的安全性について、そんなに意識をすることはない」という雰囲気でした。少し掘り下げて議論すると「間違いがあると他の職場の人にも聞こえるように指摘をされる」「業務量が増えたが、皆が何とかやりくりする中で、自分だけ出来ないとは言いにくいい」「機械化が進んで分からぬことも出てくるが、皆が忙しそうにしていると聞きにくい」「上司がしていることに疑問を感じても指摘をしずらいこともある」等の意見も出てきました。「何でも話せる心理的に安全な職

何でも話せる?
はじめに、会社も強調する「心理的に安全な職場とは」について職場の状況を出し合つてきました。

数値に現れない！

安全に垣根なし!

議会より、活動の現状や今後の職協のあり方について意見を出していただきました。

組合員数も減少傾向が続く中、活動についても停滞気味の職協が多くありました。職能別別の課題や問題点の集約は、職場改善の大好きな柱の一つでもあります。今後、どのような形で活動できるのか、さらに議論を深めることを意思統一しました。

来年の1月24日の伯備線追悼献花式も西労組米子地本と合同で執り行います。安全に組合の垣根はありません。職場の仲間と「安全実践しよう。」について、考え・

信頼と期待に応えるべく！！

12月8日、島根県分会事務所にて「浜田市議会選挙総括会議」を開催してきました。

「こくろうよなご」でも紹介した通り、10月19日投開票の浜田市議会選挙において、組織内候補の「小川稔宏」氏が見事、4選を果たされました。

選を果たされました。米子地方本部として、6月に選挙対策委員会を立ち上げて以降、選対会議・チラシ配布・支持者カードの集約・電話戦術など精一杯取り組んで来たところですが、会議では選挙戦を振り

| 返りながら今後の課題など
| 考えあって来ました。

選挙の勝因では、何といつても小川氏本人の3期12年の議員生活で培われた信頼と期待が上げられます

頼と期待が上ります。その上で、後援会を中心としてしっかりと組織的な取り組みが出来ていることがあります。そして、石見労協・連合・退職者の会の皆様の支援が当選の原動力となりました。

地盤も看板もない小川候補が当選を積み上げられているのは、こうした地道な取り組みの積み重ねに他なりません。

人口減少・過疎化が進む中、地域の皆さんとの声に真摯に耳を傾けながら、「持続化可能な公共交通」の構築など、安心して生活できる街づくりに奮闘しよう！

集まる「こと」が大事だ！



交流会後、場所を移動し出雲保線区の濱野さんも参加して懇親会を開催、充実した時間を過ごすことができました。懇親会の最後に、来年も元気で皆が集まることを確認して乾杯しました。(吾郷)